

# あき やそう 秋の野草

## ❀ ヤブラン

ユリ科の植物。名前のごとく、藪などの湿った場所に生育しています。また、葉の形がランに似ていることが名前の由来ともなっています。悪条件の場所でも生育するため、古くから庭園ではグランドカバー（地面や木の根元を覆う植物）の役割を担ってきました。



## ❀ ホトトギス

ユリ科の植物。花や葉の斑点が鳥のホトトギスにあるお腹の斑点に似ていることからこの名が付いています。種類によって花の咲き方に特徴があり、タイプと下向きに垂れて咲くタイプに分かれ、日陰の湿った地面や崖、岩場などで花を咲かせます。



## ❀ フジバカマ

キク科の植物。秋の七草の一つとして古くから日本人に親しまれている花ですが、宅地造成の影響を受けて数が激減し、現在では絶滅危惧種Ⅱ（絶滅の危惧が増大している種）に指定されています。



## ❀ オミナエシ

オミナエシ科の植物。秋の七草の1つで、万葉集や

源氏物語にも登場します。また、根は『敗醬』と

いい、漢方として用いられ、排膿作用や解毒作用

があります。また、オミナエシ（女郎花）に似て

いる花でオトコエシ（男郎花）と

いう花があります。由来は諸説ありますが、オトコエシ

はオミナエシに比べ力強く咲いているように見えること

からこの名前になったといわれています。



↑オトコエシ

## ❀ キク

キク科の植物。品種改良を

重ね、大きさ、色、形が様々

あり、種類が豊富です。日本の歴史の

中でも重要な役割を果たし、天皇家の家紋と

しても有名です。他にも9月9日の重陽の節句は、

別名キクの節句といわれ、奈良時代から宮中では

キクを鑑賞する催しが行われています。

また、キクの人気は日本だけにとどまらず、

ヨーロッパでも品種改良が行われ、日本のキクを「和菊」、

ヨーロッパのキクを「洋菊」と呼び分けられています。



## ❀ ミズヒキ

タデ科の植物。上から見ると赤色、下から見ると

白色に見えることから、祝儀袋に使われる「水引」

に見立て、この名が付けられました。小さい花を

まばらに咲かせるのが特徴です。



## ❀ シュウカイドウ

シュウカイドウ科の植物。

雄花と雌花が分かれた

雌雄異花で雄花は上向きに、

雌花は下向きに咲きます。また、

左右非対称のハート形の葉に由来し、

花言葉は「片思い」、「報われない恋」

という意味があります。



↑雄花



↓雌花

